

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（9月末現在）

令和6年(2024年)12月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

2 調査対象校 <計1,527校>

〔札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校〕

- ・小学校750校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校466校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校245校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く）
- ・特別支援学校66校

3 調査対象期間

令和6年（2024年）4月～令和6年（2024年）9月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況				5. いじめの認知件数がない学校数
		2. 解消件数	3. 解消に向けて取組中の件数		4. その他	
		・ 心理的、物理的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過している。心身の苦痛を感じていない。	・ 心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間(3か月程度)経過していない。	・ 心理的、物理的行為が止んでいない。 ・ 心理的、物理的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過しているが、心身の苦痛を感じている。		
令和6年度 第2回 (4月～9月)	20,675	17,466 (84.5%)	3,023 (14.6%)	171 (0.8%)	15 (0.07%)	373 (24.4%)
小学校	16,801	14,444 (86.0%)	2,243 (13.4%)	105 (0.6%)	9 (0.05%)	129 (17.2%)
中学校	3,216	2,569 (79.9%)	599 (18.6%)	44 (1.4%)	4 (0.1%)	103 (22.1%)
高等学校	585	398 (68.0%)	163 (27.9%)	22 (3.8%)	2 (0.3%)	92 (37.6%)
特別支援	73	55 (75.3%)	18 (24.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	49 (74.2%)

※ () は、認知したいじめの件数及び学校数に対する割合